

「主は絶えず、あなたを導いて、焼けつく土地でも、
あなたの思いを満たし、あなたの骨を強くする。
あなたは、潤された園のようになり、
水のかれない源のようになる。」

(イザヤ 58:11)

ハレルヤ！ 皆さん、お元気ですか。この1ヶ月、日米2往復しながら、いろいろなことに励まされていました。主のあわれみに感謝してます。

コンペションの準備も進んでいます。今年もすでに、関西300名、東京450名と申し込んでくださり、心から感謝しています。皆さん、ぜひ、御参加、お祈りのほど、どうぞ、よろしくお願いします。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

2つの結婚式を通しての恵み あかし ダニエル・ファンガー明泉園長・証さん編 —証さんは、福島からタイ伝道へ

3月29日、サマーキャンプ等でお世話になっているダニエル・ファンガー園長さんが結婚されました。コンペションや白馬にたくさんの明泉学園の皆さんが来て、チルミニやLIT等、指導してくれていますが、背後でバックアップしてくれてるのが、ダニエル園長です。

相手の証（あかし）さんは15才の時にご家族と一緒に、福島から丸森の伝道チームに加わりました。その後、結婚まで、タイで伝道されていました。9年前にタイにジャシュア・ブローマンさんと一緒に取材旅行した時に初めてお会いしました。タイの公立校をまわって伝道のパンフレットを手渡ししたり、教室に入って、紙芝居で福音を伝えておられました。高校生も小学生も、話をよく聞き、休み時間も、もらった福音のパンフレットをよく読んでいました。（タイでの伝道は、始まって47年め。その実績から地元の信頼が与えられ、全国の公立校の各先生方がとても協力的です。3000人の生徒がいる高校では、朝礼で15分間、福音を話す時間が与えられ、朝礼後集まった全クラスの級長さんたちに、あかしさんたちが福音のパンフ3000人分を渡しました。その後、あかしさんたちが各教室を訪ねると、先生たちが、期末試験を中断、紙芝居で伝道する時間が与えられました。山の小学校では、全校の生徒が行進して教室から出てきて整列。全員で福音を聞き、一人一人、かわいくお辞儀しながらパンフレットを受け取ったり、と、とても驚きました。）タイの皆さんと良きコミュニケーションをとりながら、まっすぐな心で積極的に伝道に打ち込む、あかしさんの姿が印象的でとても良い印象を持ちました。

その後もタイには、2回ぐらい訪問させていただき、あかしさんにも、とても良くしてもらいました。ダニエ



新婦あかしさんと、在りし日の義父クリフさん。
右上は、義兄テモテさん。

ルさんも52歳の初婚ということで、まだ独身の皆さんにも励ましにもなったと思います。それだけに、二人の結婚をととてもうれしく思いました。

1ヶ月後に逝去した、 父・クリフさんも参加できて

また、この結婚式には、ガン末期となつてからも、2年ほど闘病を続けていた父、クリフさん（89歳）も参加されました。結婚式のちょうど1ヶ月後の4月29日、クリフさんは天国へと召されます。結婚式に参加できてよかったな—と思いました。2月号のニュースレターで最後まで伝道に生きるクリフさんを紹介しました。その時、台湾から来られた家族へのことばを思いだし、僕は今も励まされます。「国籍は違っても、みんな神様の目から見たら家族だから、...」「クリスチャンを含めて、人間は、

よく間違いを犯します。その値はないのだけど、その間違いを赦し、天国へと導いてくださるために、イエス様は身代わりとなって、十字架で死に、罰を受けてくださった。イエス様を信じて、感謝しましょう！」最後まで子どもやお孫さんたちに、次のことが分かち合われていたそうです。「物事がうまくいっているように見える時、気をつけなさいよ。悪魔が、その時こそ、あなたをワナにかけようと待ち構えているのだから。イエス様から目を離さないでいなさい。イエス様の声をよく聞き、そして、示されたことには、すぐに従いなさい」

ポール・ブローマンJr. & ケリーさん編 —ケリーさんは、シアトルからモンゴルへ

続く3月31日は、ポール・ブローマンさん・せつ子さんの長男、ポールJr. さんの結婚式でした。相手は、12年ほど前に明泉の先生等として勤められ、日本で5年、モンゴルで7年間、子どもたちに英語を教えたり、伝道されたりしておられました。ポールJr. さんとは、上記のジャシュアさんと同様、映画「Kingdom Come」の制作のために、この9年半、一緒に働いてきました。ケリーさんへの祈りは6年ぐらい前に聞いたので、「祈りの成就」として、とても、うれしく思いました。6、7年前、ジャシュアさんと一緒にモンゴルに取材に行ったとき、私は初めてケリーさんと会いました。キャンパス・クルセードのアメリカ人スタッフみたいだな—というのが第一印象。僕を学生時代、クリスチャンとして育ててくれたキャンパスの皆さんは、総じて、明るく純粋な感じ。ケリーさんもそんな感じ。教室では、さっそうと教えます。モンゴルの子どもたち（韓国や中国からの伝道者たちの子どもたち）は、ケリーさんのことが大好きで「アメリカンママ」という感じで慕っていました（実際、ケリーさんは、キャンパス・クルセードのスタッフとしても2回、来日しているし、ご両親は、元スタッフでした）。ウランバートルは首都とはいえ、ケリーさんが育ったシアトルとは、環境がまったく違います。そこに命をささげるつもりで7年間、あるいは日本も入れれば、12年あま



ポールJr. & ケリー・ブローマン夫妻



(C) BRIAN DAVID CASEY

和紀子とまりさん—シアトルでのレセプションにて

り、ささげつづけた心は素晴らしいなあと思いました。

妻・和紀子も琴演奏と着付け係で参加 —10年ぶりの二人旅

31日の結婚式後、ケリーさんのお父さんは「アメリカでのレセプションの時に、参加予定のまりさん（ポールさんの妹）に着物を着てもらいたいな—」とリクエストされました。場所がシアトルだったので、最初は僕だけ行こうと思ってましたが、着付け役として、和紀子も一緒に行くことになりました。同時に、和紀子の琴の演奏もすることになりました。

ジョセフ（19ヶ月）は、真祈史とエミリにみてもらい、一泊二日、和紀子と二人きりでは、10年ぶりとなる旅行をすることになりました。それも祝福された時でした。ホームスクーリングに特命を受け、全力を尽くした10年ということで、和紀子は日頃、「旅行するよりは、一人の時間がほしいな—」と言っていました。それで、僕は、子どもたちを連れての日本体験の旅は、行えたものの、和紀子との旅行等はできませんでした。この前の夫婦二人での旅行は、10年前、牧師をさせていただいたハワイ時代、教会の皆さんがハワイ島での「結婚セミナー」に送り出してくれたのですが、それ以来の出来事で、何をやっても感謝でした。小さなホテルのそばには高級レストランはないですが、ファミレスのデニーズが一つありました。そこで二人での食事は、恋人時代のように、楽しかったです。僕は出張が多く、帰ってもミーティングや原稿の締め切りに追われ、和紀子も家事や子育てで忙しく「二人のデートなんかいらなから」と言うので、「そうか」と特にそんな時間も持っていませんでした。でも、このような時間を与えられた

らな一と祈ってもいました。すると、そのチャンス思いがけない方法で、神様が与えてくれました。日ごろ、未熟なところが多く、和紀子にも神様にも申し訳ないことが多いのですが、神様、恵みとあわれみで、必要なものを、主の時に与えてくれるのだと心から感謝しました。夕食後、空気が澄んで、夕日で赤紫色となった空に映える十字架もきれいでした。夜は和紀子は、翌日の琴演奏をめざして練習を重ねて、ロビーに下りて、クッキーとか、差し入れをもらってきたら、喜んでくれました。二人きりの夜は、ロマンティックでもあり、10年ぶりなんだな一と思い、とても感謝しました。:-)

翌4月17日、シアトルでの和紀子の演奏曲は、ポールさんが愛する日本の文化と霊性を伝える、3曲を選んで演奏をしました。1曲めは「さくらさくら」。2曲めは伝統的な讃美歌から、「主が私の手を—He Leadth Me」今年結婚20周年を迎えた最愛の妻、和紀子ですが、20年の間には、「ひろちゃんと結婚したのは失敗だったわ!」と言われる場面もありました（もう無いことを祈りますが、...）。そのような時、まず真剣に悔い改めることと、岩のように揺るがぬ信仰をもって主の助けと導き信じ、辛い状況に絶望しないことを教えられてきました。今回、琴で弾く「主が私の手を」のテーマでもあるこの聖句、「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる」（詩篇37：5）に、何度、救われたことでしょ。この聖句は、僕が婚約を決断する時に、特別に響いてきた聖句（37篇3—5節）でもあります。

3曲めは、ポールさんの父ポール・ブローマンさんが一番大好きな日本の曲、「荒城の月」。伝道者の書の聖句と重なるメッセージが込められた曲です。諸行無常の荒れた城に差す変わらぬ月の光の美しさ。そして、すべてに天の「時」があることと、天からの希望があること。伝道者の書の「空の空。すべては空...、天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。」そして、「神を恐れよ。これが人間にとってすべてである」といった聖句を思い出させる歌です。作詞者の土井晩翠は、ポールさんらの地元、仙台出身。作曲家の滝廉太郎は、クリスチャン。1903年に作られた、この歌は、後にベルギーの修道院で、讃美歌として歌われるようになりました。参加者の皆さんからは、和紀子の演奏も喜んでもらえ、また、マリさんの着物姿も大好評で、演奏、そして交わりと祝福された時を持ってました。

この旅が気軽に実現できたのは、真祈史やエミリにもジョセフを一晚任せても大丈夫になっていたからでした。3人それぞれの成長も感謝でした。ちなみに1ヶ月ぶりに会ったジョセフの語彙が増えていて、驚きました。「真祈史」のことは「シーシー」、エミリのことは「ミイミイ」と呼んでいます。わきちゃんは「マーミー」、僕は「ダーディ」。そのほか、「カー」「バス」「トゥラック」、犬は「ドギー、ワウワウ」猫は「チャット ニャオ、ニャオ」。日本語は「イターイ」とか、「ナイナイ」「コワイ」とか。少し、文章も出てくるようになりました。「Here we go!（さあ、行こう!）」とか、「カモン」とか。

ちなみにロサンゼルスでは、テッド・ベア博士宅で「ポール&ケリー」のレセプションが開かれ、今度は家族

みんなで参加しました。ジョセフは、庭に置いてあったスタントマンが練習するためのトランポリンが大好きになって、ティーンエージャーたちにまじって、ずっと跳び続け、深夜まで大喜びでした。

30年ぶりの再会

— それぞれの人生にある痛みと必要

4月下旬、日本に向かって、日本からの映画の投資をくださっている方々に現状報告。厳しい状況は続いています。が、逆に励ましていただき、感謝しました。

映画「ファイアー・ストーム」の全国での試写会もいっせいに始まりました。ある方から、連絡ありました。ご主人との関係で課題があるお姉さん夫婦に送ったら、お姉さんから連絡があったとのこと。「夫が先に本を読んでるみたいで、変化のきざしあるのよ...、連休明けにでも、息子たち夫婦にもあげたいので、あと2セットちょうだい」と言われたとのことでした。すごいミニストーリーを任せていただいたものだと思います、改めて、自分も悔い改め、聖められながら、試写会展開も続けさせてもらえるようにと祈りました。

28日は、弘前の実家に戻りました。今回は、初めての高校の同窓会が29日に計画されていました。来年度、私たちの学年が高校全体の同窓会総会の幹事役で、その準備もあつての企画。父の世代は、同窓会や同期のつながりが厚いのですが、僕たちの世代は薄かったのです。それで、父を喜ばせたいな一との思いもあつて、初めての同期会に参加しました。父に、来年の総会は、どうしたら意味あるものになり、盛り上がるか、相談したら、夜中の1時まで盛り上がりました。学校の歴史的な出来事を寸劇や、関連する歌でたどりながら、伝えるべき大切な価値感、建学の精神は何かをたどるという案です。心臓や脳梗塞で4度も倒れた父がそこまで元気になって感謝、皆さんのお祈り、ありがとうございます。

翌日、介護施設に入所している母に、父との案を話すと「それ、すごくいいと思う。提案してみたら」と励まされ、午後からの同窓会に参加しました。90名あまりの参加者の半数以上が、30年ぶりに会う人々で、アメリカから来たので、めずらしがってもらえました。2次会では、医師になったA君が子どもたちの教育について話したいとのこと。「二人がティーンということは、今、一番、大事な時期だから、できるだけ、親子の時間、持つこと必要だよ。それが鍵だ」「そうか。自分では、やってるつもりだったけど、自分のことばかりしてたな。息子が勉強、教えてと来たけど、十分、やれてなかったな。実は、その息子が高校受験に失敗して。（ミッションスクールに行っている）」「そうか。残念だったろうけど、それは神様、最高の道に導いたんだと思うよ。神のことばを聞くことが何より、大事だよ」「そうか。今、学校の宿題で、毎週、教会行ってるんだ」「それはすごいよ」「中1の娘は、部活で3つのグループに分かれて、敵対している子からの電話で、毎日のように泣いてて、心が痛い」「（B君）それは大丈夫。時が解決するよ!」「（稲葉）そうとも言いきれないと思う。心というものは、一度、深く傷ついたら、程度によって人

生を変えるダメージになる。やはり、これは親が、子どもとのきずなを深め、最大の助け手になる必要がある」「(A君) そうだよな。お父さんとお母さんは、お前の味方だからと言ってはいるんだけど。でも、なかなか、親には話さない」「(稲葉) そうだろうね。今は、行動の模範となっている友達でも、メディアでも、親に何でも分かち合おう、尊敬してきずなを深めようというメッセージを聞いてないから。B子ちゃんが見て、聞いているメッセージは、親をばかにしたり、本音を話すべきでないというメッセージが多いかも。あるいは、親を心配させたくないと思っているかもしれないし、、、。とにかく、ことばやお金ではなくて、時間を費やして、犠牲を払って、親子のきずなを築く必要があるよ。家族旅行でも、スポーツでも、勉強でも、何でもいから」「(A君) そうだな。勉強からでも始めるか、。そんな感じの中で、妻のC子が疲れちゃって。もともと、看護師だったから、仕事を始めようかって言ってる。子どもたちも、自分で夕食とか作れるようになったし」「(B君) それは絶対、いい案だ。働きに出た方がいいよ。気分転換になるし、子どもたちも自分たちでやれるって」「(稲葉) うーん。僕はティーンの今こそ、できるだけ一緒にいてやるべきだと思う。奥さんが働くことを全部否定しているわけではないよ。たとえば、チアのメンバーでも、片親とか、様々な事情で、奥さんも働かなければならない人たちもいる。神様がそう召しているケースもあると思う。そうした親のみんなも、僕は心から応援しているよ。できる範囲でいいから、とにかく、子どもたちを他人に任せず、彼らのために、犠牲を払っていこうって。でもA君の場合は、働く必要ないでしょう？ 経済的にも、何も」「(A君) まったくない」「(稲葉) そうしたら、今、働く時ではないのでは？ お金をもらうということは、そこに魂も、時間もエネルギーも注がなければならなくなる。そうしたら、今、注げている、子どもたちのための時間や、A君への時間、心の余裕は当然、無くなるよ。家に帰ったら、お母さんがとにかく待っててくれるんだというのと、仕事に行ってるんだというのはまったく違うよ。特に、働く必要があるなら、それも子どもは理解するだろうけど。子育ては、あと3年と6年でしょ。もう、それしかないんだよ。働くのは6年後でもできるよ。だけど、子育ては、この3-6年しか、できないよ」「(B君) それは稲葉の言うとおりだ。我が家の場合は、事業立ちあげたばかりで、共稼ぎしなければならなかった。でも今は、事業も安定してきたし、下の子たちには、できるだけ時間を注がなければだめだと思っているよ」「(A君) 確かにその通りだな。あと3-6年しか、無いんだもん。それは本当に短いな」話に加わっていたB君は、小学校から高校までの野球部時代の親友で、地元の名士。今回の会の幹事長。そのB君に、昨夜、父と練った案を話すと喜んでくれて「自分は地元で必要な手配するから、稲葉はプロデューサーやってくれ」と頼まれました。父や同期のみんなや同窓の皆さんを励まし、神様の栄光現れる展開になることを祈ります。

3次会では、僕の母校の教師となっているD君から、「生徒に、OBを講師に呼んできて、話を聞かせる時が毎年あるんだ。いつもの年は、つまらなくて、生徒は大体、寝てる。でも、稲葉の話はなんか、実感がこもってるんだ。

こんなキャリアには、誰もかなわないし、でも、映画もまだ未完成で、できるかどうか分からないけど、挑戦してるってところがいいんだ。ぜひ、来てほしいな」「(B君) それ絶対いいよ。キリスト教の話も出るだろうけど、ま、それはいいんじゃないか。とにかく、絶対、いいよ」「(稲葉) そうか。それは光栄だな。自分でよければ、スケジュール合えば、ぜひ、やりたいな」と答えました。実現するかどうか、わかりませんが、楽しみです。

3次会は、子どもの進学の話でもちきりでした。子どもさんが志望の高校に落ちたというお母さん、C子さんがいました。直接、話すのは、初めてでしたが(1学年360人だったので)、気になりました。「今は辛いかもしれないけど、必ず、神様が思いを超えた計画をもっていると思うよ。この道は、良かったのだと思うよ。そのように信じる選択が必要だけど」「(進学したのは、ミッションスクールなので) 神様のこと、考えなさいということかな」「そうだよ。それが人間には、一番、大事なことだよ」「娘に、直接、そのことばを伝えてほしいわ」「イエス様のすごい計画あるから。神様の計画あるんだと見る、選択してねと、ぜひ伝えておいてね！」

上記の会話で、ノンクリスチャンの友達に話したことは、この10年、チアを通して、僕自身、神様から、聖書から、教えられ、実感してきたことばかりです。みな的人生に、それぞれ痛みと必要があり、そして、聖書にその答えがあるな—ということを改めて思いました。

聖霊の声を求め、謙遜に

5月3日、映画制作の大事なミーティングがあるということで、アメリカに一時、帰国することになりました。そこで投資家の皆さんやコーディネーターされる人々との出会いがありましたが、なるほどと思わされることがいくつかありました。

様々なクリスチャン富豪とのネットを持っているEさん、「神様の栄光を、自分のもの、自分の栄光へとした瞬間、それは終わり。神様の祝福を失い、破滅がもたらされる」「なぜ、メル・ギブソンの映画「パッション」が用いられたか。祖父が言っていた。それは、メル・ギブソンは、自分は失敗者だと自覚していた。イエス様を信じて、良くなろう、正しく生きようとしたけど、できなかったと激しく悔いた人物だったから。自分の背中を文字通り、鞭打っていたという。確かに、彼は、私生活において、様々な失敗を犯してきた。そして、それを悔いてきた。そこを神様は用いた」「一緒に来たF弁護士のすごいところは、彼は、自分をいつも否定しているんだ。自分が何者でもないことを常に心がけているんだ。だから、彼の見方は鋭いし、信頼できるんだ」

Eさんは、夫や父としてのあり方を悔い改める、プロミスキーバースのムーブメントの元代表者から聞いた話をしてくれました。今から12年ぐらい前、全米のムーブメントとなり各地の5-10万人収容のスタジアムは満席となりました。代表者の大学フットボールの元監督、ビル・マカート氏は、世界に最も大きな影響を与えた人物として、タイム誌の表紙を飾りました。ワシントンDCに100万人が集ま

ったときは、僕も、取材者として参加し、30分番組を制作したこともあります。ビル監督は、巨大化し、経済的に破綻したニストリーを急激に削減します。プロミスキーパーズのミニストリーは存続するものの、ビル監督は、しばらくして、代表を退きました。

「(Dさん)僕はビル監督に聞いたんだ。今、何を思っているかと。するとビル監督は言った。『一つだけ、間違っ
て捉えていたことがあると思う。僕は、10万人のスタジオに人をたくさん集めて、メッセージを聞いてもらえれば、神の御国がもっと前進すると思っていたんだ。でも、それは間違いだったと思う。聖霊が導いてくださる方に、メッセージを伝えよう、そのために、全力を尽くせば良かったのだと今は、気づいたよ』と言うんだ。ビル監督は、今でも『監督』だよ！ レストラン中に響き渡る大声で、燃えて、僕に話すんだ。聖霊の導きだよ。その声を大事にして、その声に従って、立ちあがり、進むんだ。目を覚ますんだよ！ 聖霊の声を求め、その声に従って進むんだよ！」

二日間のミーティングを終えて、11人は全米各地へと別れました。僕はロサンゼルスへ。ロサンゼルスは2日間だけの滞在。2日めは、仕事を電話と夜のミーティングにして、ジョセフの面倒を見る時間ができました。和紀子は、我が家関連の旅行者の世話をしてくれている方に、ジョセフのベビーカーのお古とかをプレゼントに出かけました。真祈史とエミリはホームスクーリングのサポートグループに出かけました。それで僕はジョセフを連れて、30分ほど歩いてピクニック。マクドナルドのようなファーストフード店でハンバーガーと一緒に食べました。その時、最近はお歯ができたということで禁止となっていたコーラをあげたら、喜んでいました。その後、スポーツ器具のある公演に行くと、喜んで、日焼けで僕もジョセフも顔が真っかになる位、3時間近く遊ぶことになりました。腹筋の台に乗ると、僕の足元に座って、僕のまねをして、一緒に腹筋をやり始めました。「サーティーン！」とか、口真似もして。

何でも、親のまねをするものだと思っていました。なぜか、腹筋台が大好きになって、何度も戻ってきては、一緒にやろうとするので、僕自身、150回もやることになりました。また、鉄棒やうんていにトライするのも好きで、5秒ぐらいは、自分でぶらさがるようにしていました。成長は早く、限られた時間だなと改めて思いました。

「主は絶えず、あなたを導いて、焼けつく土地でも、あなたの思いを満たし、あなたの骨を強くする。あなたは、潤された園のようになり、水のかけられない源のようになる」(イザヤ 58:11)

この巻頭言を書いてたら、うれしいニュースも飛び込んできました。白血病と闘っていた名古屋の森山満音(まのん)君(6)、退院したそうです(5月12日)。10ヶ月の入院、特に、年末からの3ヶ月ぐらいは、命の危険もある状況が続き、全国の皆さんに祈りのお願いもさせていただきました。2月にお見舞いに伺った時も、意識が戻らず、緊迫した状況の時でした。神様の奇蹟というか、森山夫妻、佳音(かのん)ちゃん、奏音(その)ちゃんらの看護の中、



まのん君、白血病10カ月の入院から退院！(5月12日)
お姉さんの、かのんちゃんと共に

喜びの日を迎えられました。ハレルヤ！ まだ、再発の危険もあるわけですが、ご夫妻は、「何も恐れることはない」とのことで皆さんへの感謝を伝えておられました。どうぞ、引き続き、祝福をお祈りください。

さて、いよいよ、11年めとなる、コンベンションを迎えます。

ビル監督が失敗を通して教えられたという、聖霊に導きを祈り、神様が皆さんを送ってくださることを祈っています。初めてのチア絵画展、聖書のシーンを描くこのコンテストにも60近くの作品が寄せられ、力作にとっても感動しています。コンベンション会場で展示しますので、お楽しみに。今年は、路傍伝道トライアルをローテーションでやってみよう企画したLIT、こちらも、東京・関西合わせて50名を超える皆さんが申し込んでくださっています。基調講演のダウンナー家族、カレストッド夫妻、また、各分科会講師の皆さんとの準備のやり取りも進んでいます。最善の準備ができるよう祈ってください。現在申し込み済みの関西300名、東京450名の皆さん、また、これからの皆さんがぜひ、この機会逃すことなく、参加できるよう、会全体が聖霊に守られ、祝福され、新しく強められ、変えられていく大いなる感謝の時となるよう、祈ってください。どんな状況にあっても、「主は絶えず、あなたを導いて焼けつく土地でも、あなたの思いを満たし、あなたの骨を強くする。あなたは、潤された園のようになり、水のかけられない源のようになる。(イザヤ 58:11)」とのみ言葉を思います。

皆さんへのますますの祝福を祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫

父の心を子に向け、子の心を父に向けて——（マラキ4：6）

チア・コンベンション2010

昨年参加1200名！

関西 5月21日（金）～22日（土）

生駒聖書学院（奈良県生駒市）

東京 5月28日（金）～29日（土）

国立オリンピック記念青少年総合センター（代々木）

速報！ ダウナー・ファミリー 講演内容

危機的な結婚生活、子どもの反抗、兄弟間の不和、ティーン時代の悩み…。けれども、それらを乗り越え、今は祝福を享受しているダウナー一家。その赤裸々な証は聞く者の胸を打ちます（内容の詳細は抄録をご覧ください）。ぜひ、この機会にご参加を！



●フィル&スージー夫妻 (Phil & Susy)

基調講演1 「壊れた結婚、回復した結婚－傷をいやす」

" Marriage Broken, Marriage Restored - Healing the Wounds "

基調講演2 「真理と愛をもって家族の争いを解決する」

" Resolving Family Conflict in Truth and Love. "

分科会1 「ホームスクーリング・ママを支援し、励ますために」

" Supporting and Encouraging the Homeschool Mom "

分科会2 「ホームスクーラーの結婚生活 - 単なる継続から成功に向かって！」

" The Homeschool Marriage- From Surviving to Thriving "

分科会3 フィル氏(Phil) 「かけがえのない父の役割」 " Dad's Irreplaceable Role "

分科会3 スージー夫人(Susy) 「敬虔な遺産を残すために：子どもを弟子訓練する」

" Leaving a Godly Legacy - Discipling Your Children "

分科会4 「ホームスクーリングを通じて、世界を変えるリーダーを育成する」

" Building World-Changing Leaders Through Homeschooling "

分科会5 「敬虔な弟子訓練の鍵」 " The Keys to Godly Discipline "

分科会6 フィル氏とポール氏 (Phil&Paul) 「父と息子のための、純潔と説明責任」(男性のみ対象)

" Purity and Accountability Father-Son "

分科会6 スージー夫人 (Susy) 「結婚生活を守るための妻の目標」 " A Wife's Goal in Safe-Guarding Her Marriage."

ポール氏 (Paul)

分科会1 「頑固な子どものホームスクーリング - まさしく私です！」

" Homeschooling the Strong-Willed Child I Am One "

分科会2 「ホームスクーラーって、どんな感じ？」

" What Is It Like To Be A Homeschool Student? "

分科会3 「ホームスクーリング卒業生のトップチャレンジ」

" Top Challenges of a Home School Graduate "

分科会4 フィル氏とポール氏 (Phil&Paul) 「父と息子のための、純潔と説明責任」



アンナさん (Anna)

分科会1 「息子、娘が両親に最も望んでいること」

" What Your Son and Daughter Want and Need Most From Their Parents "

分科会2 「子どもたちが、完璧主義とパフォーマンス信仰を乗り越えるには」

" Helping Your Children Overcome Perfectionism and a Performance-Based Faith "

分科会3 「神のデザインと、壊れやすい少女のアイデンティティ」

" God's Design and A Girl's Fractured Identity "

分科会4 「ティーンエイジャーを神の心に引き寄せるために」

" Drawing Near to the Heart of God as a Teenager "



第一回 チア・にっぽん杯 絵画コンクール 受付終了です

60作品もの力作が届けました！ たくさんのご応募ありがとうございました！ 「聖書」が題材で、「ノアの方舟」「ゴルゴダの十字架」「ルツとボアズ」「サマリヤの女」「ダビデとゴリアテ」、とても励まされます。

各会場で表彰式&展覧会が開催されます。皆さん、ぜひ、お楽しみに！

表彰式 (予定)

◆関西会場 5月22日(土) 13時20分

◆東京会場 5月29日(土) 13時40分

<コンベンション 直前情報！>

現在、参加申込者数、**関西約300名、東京約450名！**（5月13日現在）。まだお申込み受付中です！ お申込みはぜひ事前に！ もちろん当日申込もOKですが、事前にお電話かメール等くださると、チア・スタッフが当日、とても助かります！ ご協力、感謝です！

アドレス：office@cheajapan.com

< L I T >

今年の新企画「路傍伝道体験トライアル」も大好評！ 現在、申込み人数は関西・東京合わせて50人あまりです。お申込みください。まだ若干名、可能です。お問い合わせください。

☆ 東京・関西2会場 W参加者の特典!! ☆

東京・関西2会場ともに参加をご希望の皆様へのプレゼント！

参加費は東京会場だけでOKです！（宿泊費等は別）。

今年は、北海道・東北から関西会場へ、関西から東京へといった新しい参加スタイルも増えています。

それぞれの会場の特徴ありますので、導かれたら、ぜひW参加ディスカウントもご利用ください！

参加無料・映画

「ファイアー・ストーム」上映会 (コンベンション会場にて)

関西・東京とも、コンベンション会場での上映会、企画しました。この時間帯は、入場無料です。ご友人をお誘いください。

■関西会場 5月21日(金) 17時—

■東京会場 5月28日(金) 19時30分—

東京ミニ学会

5/28(金) 夜7時

ほぼ受付終了。

若干名、OKなので
お急ぎください！

今年も、とても楽しいプログラムが準備されています。応援参加OK！きっと励まされます。お楽しみに！

<コンベンション 関西会場—生駒駅等 無料送迎バス申込書>

お申込みは FAX 03-6862-8648 Eメール：office@cheajapan.com、または郵送で

今年も関西会場と生駒駅、生駒山麓ふれあいセンターなどを結ぶ、無料送迎バスを運行します。ご希望の方は、5月17日までにお申込みください。

■いずれかご希望の乗車場所に○をしてください。

(1) 生駒駅 () (2) 生駒山麓ふれあいセンター () (3) アイ・アイ・ランド ()

■代表者お名前 ()

■乗員人数 () 名

■ご自宅電話番号 () ■携帯番号 ()

チア・コンベンション来日先行掲載3

「関係を立て直す」 Rebuilding Relationship

フィル・ダウナー Phil Downer

人生において最も重要なことは、どのように最後を終えるかということです。過去に犯した愚かな間違いや、味わった痛み、苦渋を強いられた少年時代…などは、最後どうなるかとの重みに比べると、それ以上の大きな意味はありません。私の友人のドン（仮名）は、崩れていた息子との関係を修復した時、「過去は変えられないが、今、そして最後が変えられる。そして、それが最も大事なのだ」と改めて、認識しました。

ドンがキリストに導かれたのは、壮年になってからです。その時彼は、それまで息子に与えたすべての傷について赦しを乞う必要があることに気づきました。そうすることで、息子がキリストの福音にも耳を傾けるだろうとも示されました。

60になる父、ドンは、30歳の息子を釣りに連れ出しました。ドンは、竿とリールには何の興味も持っていませんでしたが、息子と話し合うためです。

2人で会話をしている途中、ドンはありったけの勇気を振り絞り、こう言いました。「お前にただ謝りたい。私はアルコール中毒で、お前のお母さんにも不誠実だった。お前に与えた家庭環境や、私がしてきたことで、大きな痛みを与えてしまった」

ブラッドはうなずき、こう言いました。

「そうだね、父さん。その通り。苦しかったよ」

息子は堰を切ったように、少年時代、彼の人生に起こった出来事で、どれほどの痛みや悲しみを味わったかを話し始めました。父親の無責任さが、彼と母親に与えたダメージの深さが次々と明らかにされていきました。ブラッドが受けた屈辱、深い傷は、いまだ心の中で疼いていました。

それはドンにとって苦しく、心痛いことでしたが、静かに黙って座り、過去の話聞き続けました。

「許してくれ」。息子がその心の扉を開き、その思いを吐露し終わった後、彼はこう言いました。「すまない。私のことを許してくれ。本当にお前を傷つけてきたね。どうか許してほしい」

ドンが自らへりくだる、こうした情景は、旅の間中、続きました。遂に、ブラッドの心は砕かれ、号泣しながら彼は父親の元に行き、しっかりと抱き合ったのです。この日、彼らは、もう少しで完全に崩壊しかけていた関係を立て直しました。

皆さんが置かれている状況が今、どんな状況であれ、神様には過去のダメージを回復することができます。過ぎ去った年月を再びやり直すことはできません。けれども、神様には、将来を輝かせることができますのです。神様にあれば、これから先、より大切な良きことが、たくさん起こってきます。

家庭内のトラブル

What matters most in life is how we finish—not the past, our stupid mistakes, pains we suffered or the horrendous childhood we endured. A friend I'll call Don saw that as he mended his battered relationship with his son.

Don came to Christ late in life. He knew he needed to ask his son's forgiveness for all the pain he had inflicted before he could expect his son to listen to the claims of Christ.

At age 60, he took his 30-year-old son out for a weekend of fishing. But his heart wasn't on rods and reels.

As they talked, Don gathered enough courage to say, "I just want to confess to you that I was an alcoholic and I was unfaithful. I know the family you grew up in and all the things I did brought great pain to you." Brad nodded.

"That's right, Dad, it did."

Soon the younger man gushed forth a story of the pain and anguish a particular incident had caused him as a boy. He revealed the damage his father's irresponsibility had inflicted on him and his mother. The humiliation hadn't faded away.

It hurt Don to sit patiently and listen to this retelling of the past.

"I'm sorry," he said after his son unloaded his feelings. "Would you please forgive me? That must have really hurt. Would you please forgive me?"

This scene was repeated often as Don humbled himself constantly throughout the trip. Finally Brad broke. Bursting into tears, he clutched his father and held tight. That day they began rebuilding the razor-thin threads of their relationship.

Whatever your situation, the Lord can restore past damage. It is impossible to relive years gone by, but God can brighten the future. We have a lot to say about what happens from this day forward.

Trouble at Home

While alcoholism, drug abuse and other dysfunctional behavior affect millions of people, for millions more they aren't a problem.

Instead, it is the simple, day-to-day misunderstandings and irritations of family life that causes breaks. How we react and affirm our love for the other person, despite our disagreements, makes the difference.

A few years ago our son, Joshua, went through a

何百万人もの人々が、アルコール中毒、麻薬の乱用、あるいは何か、問題ある行動の影響に苦悩しています。しかし、もっと多く、数千万人以上の人々にとっては、それらは、直接の問題とはなっていないでしょう。

そうではなくて、もっと些細な日常のこと、家庭生活における日々の誤解や癪癢が、家庭を完全に壊してしまう原因となっています。一致できないことがあった時、他の家族に対してどのように行動し、愛を言い表していくか、それが大きな違いをもたらします。

数年前、私の息子のジョシュアは荒れた状態になっていました。単なる不機嫌か、思春期によくある反抗、あるいは、その日、虫の居所が悪かったということが理由であったのかどうか分かりませんが、息子が我が家にとって、かなり痛い問題となっていたことは事実です。特に、妻のスージーに対して、失礼な態度を取っていました。口答えしたり、従わなかったり、あからさまに嫌な顔をして反抗したり…。兄妹たちに対して、同じような振舞いでした。

ある晩、外で夕食を食べている時に、妻は今起こっていることを私に打ち明けてきました。家に帰ってから、私は家族全員を集め、ジョシュアと面と向かって話し合いました。彼がしてきたことは間違っていること、それがどれだけ周りの人を傷つけてきたかを告げたのです。

私は聖書の第一コリント13章を開きながら、そこを読むように彼に言いました。愛について語られた有名な箇所ですね。読み終わると、私は彼に「お母さんを愛しているかい?」と問いかけました。

「うん」

「お前が今まで取って来た態度は、愛しているということなのか?」

「いや」。彼は首を横に振りました。

兄妹たちは、彼がいかに乱暴で、思いやりに欠けていたかを告げました。スージーも、これまで彼が示してきた、失礼で不従順な態度についてリストアップしました。それに対してジョシュアは、弁明しようとはしませんでした。それらの指摘がすべて当たっていることを認めていたからです。

私たちは、ジョシュアに行動を改める必要を警告する一方、同時に彼には懲らしめが必要でした。

「野球はもう終わりだ」。グローブとバットを渡すよう求めました。それから、ガレージのところにかけたバスケットボールのリングへのシュートを禁止しました。

「これからしばらく、自由時間はやるべき課題でいっぱい。洗濯や掃除と、聖書を読むこと。そして、大事な聖句を書きとめなさい。それから台所の仕事も、担当しなさい。食後の皿洗い。毎食ごとだ」と私は告げました。

こんなことを言うのは気が進みませんでしたが、ジョシュアには厳しい軌道修正が必要でした。この懲らしめによって、自分の行動が間違っていたことによりやく気づいたと、ジョシュアは後になって言いました。間違いを認めるには、まず、心が碎かれる必要がありますが、それこそ、壊れかけた関係を修復するための第一歩なのです。

私たちの息子のケースで言うと、彼は家族に怒りをぶち

rough period. Whether you call it moodiness, adolescent rebellion or a bad hair day, he became a severe pain. He was disrespectful to my wife, Susy—talking back to her, disobeying, or shooting her rotten looks. He acted in similar ways toward his brothers and sisters.

Finally, one night at dinner, she told me what had been happening. When we returned home, we gathered everyone together to confront him. We told him what he had done was wrong and how it had hurt others.

Opening the Bible to 1 Corinthians 13, I asked him to read the famous chapter on love.

When he finished, I asked, "Do you love your mom?"

"Yes."

"Is this the way you've been acting?"

"No," he shook his head.

His brothers and sisters shared how he had been rude and thoughtless. Susy listed ways in which he had shown disrespect or disobedience. He didn't try to defend himself, because he knew it was true.

While we warned him he had to clean up his act, he also needed discipline.

"Baseball's over," I said, demanding his glove and bat. Then I banished him from shooting at the goal hanging above the driveway.

"For the indefinite future, your free time is going to be filled up with chores and Scripture reading, plus writing down key verses," I said. "The kitchen is now yours too. Keep it clean after every meal and during the day."

I took no pleasure in this, but Joshua needed a severe course correction. He later revealed how this discipline made him realize that his conduct was wrong. It takes humility to admit mistakes, but that is the first step toward healing damaged relationships.

In our son's case, he realized that he had been taking out his anger on the family. If someone did some-



まけてきたことに気づくことができました。自分の気に入らないことをされると、怒り、切れるのが彼の常だったのです。怒りを持つことは自然なことですが、その怒りを誰かにぶちまけるのは間違っています。

私自身、そのような自分の性質と長い間闘ってきましたから、私の人生で味わった痛みと問題を、息子は避けて通れるように助けてやりたいと思い、家事や聖書の課題を出しました。

聖書によって与えられた変化

聖書の助けを借りて、まず彼の表情が変えられていきました。早朝に持つ神との交わりも、大きな助けとなりました。1日の中で神との静かな時間を持つことによって、彼は主に自らの重荷を告白し、道を示して下さいよう話す機会を得ました。私もまた、自分の失敗談を息子に分かち合いました。

神の霊と共に歩もうと、私たちは互いに自らのことを話すようにし、その課題を果たし続けました。彼が大人になるまで、私たちはよく一緒に走ったり、バーベルを挙げたりしながら、多くのことを語り合ってきたものです。

息子は、仕事でどんなことが起こったか、スージーとうまくやっているか、私に質問してきました。私の方は、勉強はどんな様子か、兄妹たちとは仲良くやっているか尋ねました。

ジョシュアはきっと、こうした話し合いはいつも心地よいものとは限らなかったと言うでしょう。徹然しめと同じで、説明責任というのは必ずしも楽しいことばかりではありません。けれども、霊的生活において、また人間関係において成長していくためには、これは必要なことです。たとえ、1人きりの時であっても——。神と共に正しく歩むそのゴールは、周りに誰もいなかったとしても、適切な振舞いをするということなのです。

この出来事から、私たち家族全員が学んだ価値あるレッスンは以下のとおりです。

- ・対立がある時には、キリストと同じ方法で取り扱うことができることを全員が体験しました。タイムリミットは設定せず、全員が物事を熟考できるようにし、遠慮なく話したり、あるいは黙るべき時は、何も言わないでいられるようにしました。
- ・怒りではなく、愛こそが動機であることを強調しました。
- ・私たちの言動に対して、神さまが祝福を与えてくださるよう祈りました。

このようなしつけを始めた時、スージーと私は、子どもたち全員が、ほかの一人一人に、何かこれまでと違った行動を考えていくよう、励ましていきました。

兄妹たちは、自分たちがジョシュアを挑発して、彼の怒りを引き起こした面もあったこと、また、彼を尊重する気持ちに欠けていて、彼をがっかりさせていたことを認めました。さらに彼が困難な時を通っているのを見ても、十分に祈ってあげていませんでした。ですから私たちは、ジョシュアが自分の思いを自由に表せるよう励まし、それによって彼は自分が抑えつけられていると感じないように



thing that Joshua didn't like, he snapped at him. Anger is natural, but taking out your anger on others is wrong.

Since I have struggled with these attitudes, I wanted to help him avoid the problems and pain I caused in my life.

Scripture helped change his outlook. So did early-morning sessions with God. He saw how a daily quiet time gave him a chance to tell the Lord about his burdens and seek direction. I also shared with him my failures.

We have kept each other accountable as we walk in God's Spirit. Until he grew up, we often went for runs together or lifted weights, which gave us time to talk things over.

He asked me what was happening at work and how Susy and I were getting along. I asked him how he was doing in school and whether he was getting along with his brothers and sisters.

Joshua would tell you that these sessions weren't always positive. Like discipline, accountability is not necessarily pleasant. Yet we need it to grow in our spiritual lives and relationships—including when we're alone. The goal of an upright walk with God is to act properly even when nobody else is present.

Our whole family learned valuable lessons from this incident:

- ・ Everyone saw that confrontation can be handled in a Christlike manner. We set no time limit on this session so everyone could think things over and feel free to speak or not say a word.
- ・ We emphasized that love was the motive, not anger.

たのです。

批判されると、私たちはしばしば、すぐに「どうせ、自分はだめなんだ」と言って、とても失望してしまいがちです。

それで、私たちは家族で集まることを繰り返しました。全員で反省し、もっと違う行動を取れたかもしれないことを列挙し、自分の一つ一つの行動に対する責任を取るようになりました。自分の間違いに気づいた時は互いに素直に謝りました。この過程においてとても貴重だったのは、ヘブル12章を読み、学び続けたことです。

「いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて…忍耐を持って走り続けること」(12:1)「イエスから目を離さない」(12:2)「主の懲らしめを軽んじてならない。…主はその愛する者を懲らしめ、受け入れるすべての子に、むちを加えられるからである。」(12:6)

家族の集まりの最後には、ジョシュアに感謝していることを、一人ひとりが分かち合いました。彼が素晴らしい霊性を持っていること、そして彼の情熱や、子どものような興奮は、他の人にも影響を与える力があることを話しました。ジョシュアのそうした性格がどれだけ私たちを励ましてきたかを説明したのです。

こうして、私たちは与えるべき、あるいは受けるべき批判を、励ましの変えることができることを、失敗から学んできました。家族の誰かがダウンしている時は、別の家族が問題を取り扱うのです。聖書は、教えます。課題について愛と真理と誠実をもって取り扱っていくようにと。

もちろん、私自身、多くの間違いを犯してきましたが、神の御前にその間違いを告白し、一生懸命に取り組みながら、神さまを絶えず求めてきました。こうした努力は報われるものです。

結婚生活も40年近くが経ち、今、私には6人の、幸せで、よく成長した子どもたちがいます。「主は恵みと栄光を授け、正しく歩く者たちには、良いものを拒まれませぬ」(詩篇84:11)。この神さまの約束の成就を、今私は目の当たりにする恵みにあずかっているのです。

・ We prayed that God would give His blessing for what we said and did.

As we began, Susy and I encouraged our children to think about something each of us could have done differently.

His siblings admitted they had provoked him, inciting his anger, and discouraged him by showing a lack of respect. And, when we had seen he was going through a hard time, we hadn't prayed enough for him. We encouraged Joshua to talk about his feelings too so he didn't feel like he was being steamrollered.

Often when facing criticism, we can be quick to say, "I'm just a failure," and get very discouraged.

So, we went around in a circle. Everyone listed ways they could have acted differently and took responsibility for their actions. Each of us apologized for our mistakes. We found reading and studying Hebrews 12 invaluable in this process.

We concluded with each person sharing something he or she appreciated about Joshua. We told him he had a wonderful spirit and how his enthusiasm and excitement were contagious. We explained how that encouraged us.

This is the way we can turn the necessary giving and receiving of criticism into an encouraging session where we learn from our mistakes. Some families take charge of problems while others retreat. The Bible admonishes us to deal with issues in love, truth and honesty.

Granted, I have made many mistakes but have continually sought God through a lot of confession and hard work. But this effort pays dividends.

After nearly 40 years of marriage and six happy, well-adjusted children, I have seen God deliver on His promise: "No good thing does He withhold from those who walk uprightly" (Psalm 84:11, NASB.)



い な ち ゃ ん の

お薦め映画ライブラリー

先月までの44作品の映画評論はwww.cheajapan.comへ

「ライフ・イズ・ビューティフル」

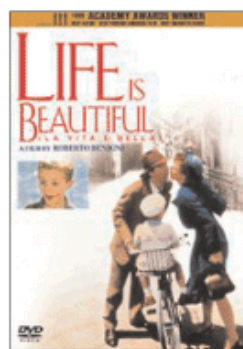
幼子を命がけで守る父の明るさ、夫と息子のために志願してナチ収容所に向かう妻

カンヌ映画祭でグランプリに輝いた、ロベルト・ベニーニ監督・脚本・主演の感動作。ナチの強制収容所に収監された家族の物語を、ユーモラスかつ真実の幸せをみつめる視点で描く。“イタリアのチャップリン”と称される、ベニーニのユーモアと哀しみを交錯させた演出が秀逸。

日頃は決して模範的、理想的とは言えない父ゲイド（ベニーニ）だが、ナチ収容所で、子を守る使命に立ち、明るく、知恵と愛情、努力と揺れない心を刻んで、行動していく。父ゲイドは、幼いジョズエに、「お気に入りの戦車を得るためまでのゲームなのだ」と繰り返す。恐れなくて、生き抜いて、“得点”を稼げば、戦車がもらえるのだとゲイドはことあるごとに教え、演じ続ける。

一方、ユダヤ系の夫と子どもを追って、志願して、女性の収容所に入ったイタリア人の妻、ドーラ。そんな妻を励まそうと、放送室にしのびこんで妻に呼びかけたりと、ゲイドの涙ぐましい努力は続く。子どものいのちを守ろうとする父親の命がけの行動は、マタイ12章でパリサイ人に律法を破ったと非難された「イエスの弟子たち」や、イエスに肯定された、「安息日にパンを食べたダビデと連れの者たち」か、あるいは「うそつき」か、ディスカッションできるポイント。

いずれにせよ、完全者ではないゲイドが、家族と自分を、死と直面させる極限状況の中で、明るさと勇気を保ちながら、大切なもの、家族を守り続けようと生きる姿は、心を打つ。ゲイドは最後までジョズエに希望を与え続け、演じながら、せつないエンディングへと向かう。自分も、明るく、しっかりしてなくてはと励まされる作品。日本で、世界で、この作品を愛する人々は多い、最近、廉価版登場で1890円。



2010

ムービーガイド賞

「路上のソリスト」

人間の価値、才能、精神的な病、友情とは

5月26日発売予定

昨春、エミリ（13）と一緒に試写会で見た、実話に基づいたこの作品、廉価版（1500円）が今月末に登場しますので紹介。エミリの推薦映画です。

ロサンゼルスタイムズの新聞記者、ロベスは、公園で2本しか弦のないヴァイオリンを弾くホームレス、ナタナエル・エアーズに出会う。演奏する美しい響きにひかれ、担当コラムのための取材をはじめ。そして、ナタナエルが将来を嘱望されたチェロ奏者で、アメリカの最高学府、ジュリアード音楽院の学生だった事を知る。なぜ才能ある音楽家が、LAの路上生活者になったのか？そして、家も家族もない彼が、なぜ音楽だけは捨てずに生きてきたのか？やがて、ロベスはナタナエルの感動の物語を発見する。

人間の価値、才能、精神的な病、友情とは、……。アカデミー俳優ジェイミー・フォックスが、路上の天才チェリストを演じる感動作。



いなちゃん推薦！
でも番外編

「ダークナイト」

ヨブ記にある人間の本質。キリストの自己犠牲のように
生きたいと思わせる大ヒット作

真実のヒーローとは自己犠牲、無力感、忍耐、等を描いた『バットマン ビギンズ』の続編。でも、この作品は、いなちゃんお薦め映画の番外編。暴力シーンに一部、不適切なシーン等があるので、13歳以下には不適切。ただし、興行収入1000億円を超えたこの作品。見終わった後に、「キリストはこのような存在だったのかな」「自分も、このように、人のために生きられるように祈りたい。自分が犠牲になり、何の評価も得られずとも、義のために事をなしていく人生を生きたい。逆に、誤解され、悪評を得ることになっても、義のために事をなそうとして、生きていきたい」「そのために、今日を一步、一步、がんばっていこう！失敗してもいいから。悔い改めつつ」そんな気持ちにさせます。

史上最悪の犯罪者、ジョーカー。享楽目的で、犯罪を犯していく彼は、バットマンを追いつむ“ゲーム”を開始。新任検事で“光の騎士”と慕われ、悪に立ち向かうデント。バットマンは、そんなデントを後押しする。しかし、ヨブを神に逆らわせようとするサタンのごとく、ジョーカーはデントの恋人を殺し、正義の味方、デントを復讐の犯罪者へと、引きずり降ろしていく。目の離せない展開。すぐれた演出とアクションと共に描かれる。享楽で犯罪を行うジョーカーを演じたのは、本作撮影後に急逝したヒース・レジャー。全身に異常性と破壊性をまとったそのリアリズムと怪演は圧巻。亡くなった役者として、初めて、アカデミー賞助男優賞に輝いた。

人の賞賛を浴びず、求めない暗闇の騎士（ダークナイト）として、助け、導いてくださっているキリストのことを思わせ、勇気を与えてくれるので、番外編ながら、推薦しました（本作品は、真祈史の推薦作の一つ）。廉価版も、推薦理由の一つ。



☆☆ 「ファイアー・ストーム」試写会より 感動の声が続々と届いています！

・とても良い映画でした。映画の中に何度もイエス・キリストのことや、聖書のみことばがあり、こんなにも福音にみちた映画は初めて見ました。ありがとうございます。（30代・女性）

・とても良かったです。結婚生活には互いに努力が必要だと思ってはいましたが…。時々こういう映画を見ると、あらたな気持ちを持ち続けられていいと思います。“無条件” 大切です!! （40代・女性）

・誰にでも起こりうることばかりなので、2人の心に変化があらわれ始めた時、本当に感動しました。自分でも毎日、生活に取り入れて参考にできることもたくさんありました。ハラハラドキドキ&涙&Love。いい映画でした!! （女性）

・素晴らしい映画でした。第3者の視点から見ると、男の人がけっこうひどい態度をとっているように見えたのですが、どっちもどっちだと実感しました。ただ男の人の行動は凄く目を見張るものがあり、自分がその人の立場ならと考えたら…素晴らしい行動力だったと思います。（20代・男性）

・とってもすばらしかった。どんな結婚にも、いろいろな山もあれば谷もある。だめになりそうな時が来ても、イエスさまが介入してくださるなら、絶対に「もうダメだ」ということはないと思った。やはり、主と共に歩み、結婚生活も主と共に歩まなければならないと確信した。（女性）

・両親に見せたいと思った。また自分の将来のためにも

参考になるものだった。（20代・男性）

・とても良かったです。私も夫に謝りたいと思いました。（40代・女性）

・とてもおもしろかったです。クリスチャン向けの映画はあまり期待できないものが多い感があるが、これは一般向けの映画としても十分に通用するし、おもしろいと思う。（40代・男性）

・新しくつくられた私であるのに、心から相手を愛し、言動で示してこなかった！と気づかされました。日本人の男の人は、むずかしい…と思いこんでいましたが、自分が見返りを求めずに、愛の言葉・愛の行いを示していけたらと思いました。（女性）

・素晴らしい内容でした。私の前の席に、婦人会のメンバーが未婚者の夫を連れてきて一緒に見ていたのに感動しました。（40代・女性）

・相手の非ばかり見えて、自分がどれだけキズつけられたかにフォーカスしてしまいがちですが、まず神を自分がどんなにキズつけたか、どんなにゆるして愛してもらっているかをもう1度考えさせられた。もっとイエス様を知りたいと思う。（30代・女性）

・神様の私たちに対しても大きな愛が源になれば、結婚生活は成り立たないな？と心の底から思いました。神様の愛をこれからもたくさん受け続けて、主人を、そして隣人を愛していけるようになりたいと思いました。すてきな映画を紹介していただけて感謝です！（40代・女性）

名作映画DVD(書籍)オーダーシート

⇒FAX 03-6862-8648
メール office@cheajapan.com または郵送

(個人鑑賞用です)(価格はすべて税込)

NEW! 「ライフ・イズ・ビューティフル」 1,890円 () 枚		NEW! 「ダークナイト」 1,500円 () 枚	
NEW! 「路上のソリスト」(5/26発売予定) 1,500円 () 枚			
4月紹介「東京物語」 1,000円 () 枚		3月紹介「大草原の小さな家シーズン1」 4,980円 () 枚	
4月〃 「バットマンビギンズ」 1,500円 () 枚		3月〃 「塩狩峠」 3,129円 () 枚	
4月〃 「大草原の小さな家シーズン2」 4,980円 () 枚		3月〃 「グレイテスト・ゲーム」 1,500円 () 枚	
4月〃 「スパイクキッズ2」 1,890円 () 枚		3月〃 「グラン・トリノ」 1,500円 () 枚	
◆ 「スパイクキッズ」 1,890円 () 枚		◆ 「ドリームズ・カム・トゥルー」 1,480円 () 枚	
◆DVD「ファイアー・ストーム」 +書籍「決断する愛」 セット		3,990円 () セット	
◆ 「天地創造」 1,990円 () 枚		◆書籍「決断する愛」 1,680円 () 冊	
◆ 「プリンス・オブ・エジプト」 2,625円 () 枚		◆ 「十戒」 2,480円 () 枚	
◆ 「アイ・アム・レジェンド」 1,500円 () 枚		◆ 「チェンジング レーン」 1,500円 () 枚	
◆ 「サムソンとデリラ」 500円 () 枚		◆ 「トゥルー・マンショー」 1,500円 () 枚	
◆ 「若草物語」 500円 () 枚		◆ 「名犬ラッシー」 500円 () 枚	
◆ 「偉大な生涯の物語」 1,990円 () 枚		◆ 「クオ・ヴァディス」 500円 () 枚	
◆ 「バグズライフ」 1,890円 () 枚		◆ 「聖衣」 500円 () 枚	
◆ 「ナルニア国物語 第1章」 1,890円 () 枚		◆ 「サイモン パーチ」 1,500円 () 枚	
◆ 「炎のランナー」 1,480円 () 枚		◆ 「モンタナの風に吹かれて」 1,500円 () 枚	
◆ 「フェイスング ザ ジャイアント」 1,480円 () 枚		◆ 「剣と十字架」 1,990円 () 枚	
◆ 「サウンド オブ ミュージック」 1,890円 () 枚		◆ 「ファインディング・ニモ」 1,890円 () 枚	
◆ 「パッション」 4,725円 () 枚		◆ 「Mr. インクレディブル」 1,890円 () 枚	
◆ 「レ・ミゼラブル」 1,480円 () 枚		◆ 「ベン・ハー」 1,500円 () 枚	
在庫僅少「黄昏」 1,800円 () 枚		◆ 「奇跡の人」 1,990円 () 枚	
在庫僅少「トイストーリー」 1,890円 () 枚		◆ 「幸せのちから」 1,980円 () 枚	
在庫僅少「トイストーリー2」 1,890円 () 枚		◆ 「RV」 1,480円 () 枚	
◆ 「スパイダーマンTM デラックス・コレクターズ・エディション (2枚組)」		1,980円 () 枚	
◆ 「スパイダーマンTM2 デラックス・コレクターズ・エディション (2枚組)」		1,980円 () 枚	
◆ 「スパイダーマンTM3 デラックス・コレクターズ・エディション (2枚組)」		1,980円 () 枚	
合計		枚	円

※5000円以下の注文、または遠隔地の場合、送料(実費)あり。※1万円以上のご購入の場合、代引発送となります。

※品切れの際は、少し発送にお時間を頂く可能性があります。また、製造中止の場合、廉価販売等の場合もありますので、どうぞご了承下さい。

フリガナ お名前	お電話番号
(〒) ご住所	

チア・にっぽん 第10回 合同学習会

国会へ行こう！（パート2）**6月2日（水）午前9時45分****「模擬国会体験コースつき」（オプション）**☆ **現在60名（5月11日現在）残り45名募集** ☆

優先予約を受け付けておりました第二回の日程が決まりました。6月2日（水）です。すでに優先予約申し込みいただいた皆さん（京都を始め、全国各地から大変、感謝です）は、そのまま優先的にOKとなります。今、申込み準備中の皆さんは、早めにお申し込みください。今回は国会開催予定日ですので、第1回めのスケジュールになかった国会審議の様子も見られる予定です。（状況によっては、国会が無いときもありますので、その時はご容赦ください）

「模擬国会体験コース」も組んでいます（「実際の法案がどのように審議、可決されていくのか、ロールプレイで実践するコース」。主に10-15才対象。当日の参加人数によっては、大人や低年齢の皆さんも傍聴できます。約1時間。午後3時30分終了。幼児ファミリーは2時ごろ帰宅可能です）。

第一回めの参加の皆さんも、今度は、1回めに無かった国会審議を見れることはもちろん、全容を、祈りながら、冷静にじっくり見られるというメリットもありますので、申し込んでいただいて大丈夫です。

もし午後からの体験コーナーだけで良ければ、今の段階は、国会の方にも席があるようなので、大丈夫です。午後からの場合は、食費はいりません。

どうぞ、こぞって申し込みください。ますますの祝福を祈っています。

（予定）参議院議長貴賓室→天皇・皇族休憩室→参議院本会議場→議事堂前写真撮影→憲政記念館→参議院議員会館下田敦子議員の部屋訪問→模擬国会体験（オプション）等

■ **参加費** 無料です。憲政記念館の昼食代実費（1150円）のみお願いします。子ども料金は無いようで、申し訳ないですが、同じ料金だそうです。（食事の持ち込みはだめですが、2才以下や事情等ある場合は、2人で分けて食べて一人分とすること等が、若干であれば、許されるようです。）

■ **コーディネーター** 稲葉 寛夫

●郵便振替：00190-3-35461 チア・にっぽん事務局
●銀行振込：三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店（普）1746716
ホームスクーリング・ビジョン(株)

**第2回 国会へ行こう 申込書**

⇒ FAX：03-6862-8648 Eメール：office@cheajapan.com

ふりがな 代表者ご氏名		(携帯)	
		お電話	
模擬国会 参加希望 () 午後からの参加希望 ()			
ご住所 (〒)			
昼食代 1150円 × () 人 合計 () 円			
参加者ご氏名 & 性別 & 年令 & 模擬国会体験希望			
ふりがな	男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳
模擬国会 参加希望 () 午後からの参加希望 ()	模擬国会 希望 () 午後からの参加 ()	模擬国会 希望 () 午後からの参加 ()	模擬国会 希望 () 午後からの参加 ()
ふりがな	男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳
模擬国会 参加希望 () 午後からの参加希望 ()	模擬国会 希望 () 午後からの参加 ()	模擬国会 希望 () 午後からの参加 ()	模擬国会 希望 () 午後からの参加 ()

《メディア紹介》 「国会へいこう！」記事 クリスチャン新聞一面（5月2日号より）

＜クリスチャン新聞 5月2日号＞



憲政記念館での昼食



下田敦子議員の
お部屋を訪問！▼

《記事内容》

日本でチャーチ&ホームスクーリングを推進するチア・にっぽん（稲葉寛夫代表）は4月6日、社会教育の一環として、チャーチ&ホームスクーラーの国会ツアー「国会へ行こう！」を開催。下田敦子参議院議員の案内で、108人の親子が審議の様々などを見学、議員会館の下田議員の部屋を訪問した。

桜が満開の当日、参議院議長貴賓室、天皇・皇族休憩室、本会議場など、国会議事堂内を見学。本会議場に入った途端、子どもたちは「わあ、広い！ 本物だ！」と歓声を上げた。

また、厳しいボディチェックの後、報道記者らの横に座り、中井治国家公安委員長、千葉景子法務大臣、松あきら法務委員長、今野東理事、丸山和也議員などによる法務委員会審議を傍聴。内容は「えん罪」「DNA判定」「時効」。緊迫した空気に親子共々「人生で一番緊張した。とてもエキサイティングだった」、「実際に間近で傍聴でき勉強になった」との声が相次いだ。その模様・内容は当日夜、各メディアが報道していた。

お昼は憲政記念館で下田議員と共に昼食。午後は、滅多に入れない「国会議員の部屋」を訪問した。キリスト教を背景に青森県弘前市で育ったという下田氏は、ホームスクーラーの子どもたちを見て「礼儀正しい。落ち着いていて、親の言うことをよく聞いて行動していた」と感心していた。

参加者からは「審議中の委員会や議員の部屋など、普通、できない体験を肌で実感し、政治が近くなった」（父親）、「下田議員がいい質問だとほめてくれてうれしかった」（9歳女の子）、「僕は将来政治家になりたい」（6歳男の子）との声があった。

6月2日に、第2回目を開催する。定員100人。食費実費で、誰でも参加可。048・854・1725、URSwww.cheajapan.com



「ファイアー・ストーム」 「フェイシング・ザ・ジャイアント」

試写会受付中！（現在、6月4日以降分、受付中です）

たくさんのお申し込み、ありがとうございます。小規模で大歓迎ですので、ぜひ、お申し込みください！ 5月16日から6月3日までは、チア・コンベンション等のため、この期間は、これ以上の対応が難しい状況です。6月4日以降を、お申し込みいただくと大変、感謝です。どうぞ、よろしくお願いします。

DVDは、ご家庭等、個人的な場所での視聴以外、無許可で集会、教会等における上映会は、禁止されています。でも、「ファイアー・ストーム」「フェイシング・ザ・ジャイアント」については、チア・にっぽんが正式な窓口となっており、ソニー・ピクチャーズ社に申請する道が開かれました。「上映&DVD販売会」という名目での許可を得る方法です。主に祝福された素晴らしい機会となると確信しています。

まず、チア・にっぽんに資料をご請求ください。既に実施済みの教会、団体からは多くの感動と祝福のレポートが多数、寄せられています。皆さんの教会でも、両作品からの大なる福音伝道の業が、広がっていくことを心から祈らせていただきます。

詳細・問い合わせはチア・にっぽんまで（Eメール：kuwatani@cheajapan.com FAX03-6862-8648）。申し込み詳細は、HPでもチェックできます（www.cheajapan.com）お申し込みをお待ちしています！

試写会会場からのレポート

今回の試写会・販売会をさせていただきありがとうございました。私自身も含めて涙が流れて仕方ありませんでした。今までの妻に対しての反省も含めて、「愛する」ことをチャレンジさせていただき感謝しています。

一足はやく個人で購入しており、今年の教会のテーマは「チャレンジ」でしたので、「決断する愛」を一年かけて教会で挑戦しています。（40日×1週＝40週間で）

3月に母が病床洗礼を受け、元気なうちに父に伝道したいと祈っていました。「サムソンとデリラ」「聖衣」の主演は、父が大好きな俳優でしたのでピーンとひらめき、「父の日」にプレゼントします。「サウンドオブミュージック」は、孫のために買いました。早速見て喜んでいます。

（札幌キリスト福音館 栗沢チャペル 渡辺浩一さん）

4月29日に試写会を開催 東近江キリスト福音教会

地元「報知新聞」に試写会の広告を掲載し、アピールしていただきました。下は一面トップに掲載された広告。

<拡大>

「ファイアー・ストーム」 「フェイスング・ザ・ジャイアント」 全国試写会 全国で拡大中！

＜これまでのリスト＞

「ファイアー・ストーム」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 長野 チア・白馬セミナー
- 千葉 おゆみ野教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 福生ベテル教会
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ベテル・バプテスト教会
- 静岡 第45回教役者大会（ヤマハリゾート）
- 東京 武蔵野EFC教会
- 静岡 キャンパス・クルセード（ヤマハリゾート）
- 東京 クロスロード・インターナショナル葛西教会
- 滋賀 ジーザス・ハウス守山教会
- 埼玉 ANRCセミナー（ヘリテージ・リゾート）
- 札幌 ICF教会

- 石川 小松ベタニヤ福音教会
- 滋賀 東近江キリスト福音教会
- 静岡 VP浜松
- 愛知 名古屋グローリアスチャペル
- 茨城 水戸第一聖書バプテスト教会
- 岡山 西大寺キリスト教会
- 北海道 札幌キリスト福音館
- 北海道 札幌キリスト福音館栗沢チャペル

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 神奈川 Living Water Church
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ANRCセミナー（ヘリテージ・リゾート）
- FCMF(自由クリスチャン伝道団)
- 千葉 市原シャローム教会
- 大阪 JECヒルズチャーチ

＜今後の予定＞

「ファイアー・ストーム」

- 5月16日（日）
千葉 千葉グレイスチャーチ 043-253-1850
- 5月16日（日）
神奈川 横須賀キリスト教会 046-836-3273
- 5月21～22日、28～29日
チア・コンベンション（関西・東京）
- 5月23日（日）
岐阜 海津キリスト教会 0584-53-0473
- 5月30日（日）午後1時30分
神奈川 ナザレン青葉台教会 045-981-3694
- 5月30日（日）
東京 東京ライトハウスチャーチ 03-3758-1625
- 6月6日（日）
大阪 阿倍野キリスト教会
- 6月8日（火）
フォースクエア教団（年次総会）
- 6月8日（火）
愛知 名古屋グローリアスチャペル 052-833-1092
- 6月13日（日）午後
熊本 有明バイブルチャーチ 0968-62-5870
- 6月20日（日）
大阪 JECヒルズチャーチ 072-453-4106
- 6月21（月）-23日（水）
岐阜 海津キリスト教会 0584-53-0473

- 6月
福岡 博多ニューライフ教会 092-481-5477
- 日程未定
兵庫 広畑キリスト教会
- 日程未定
東京 みどり野キリスト教会
- 日程未定
神奈川 チャペルオブホープ
- 日程未定
奈良 SDA奈良教会



(C)2008 SHERWOOD BAPTIST CHURCH OF ALBANY, GEORGIA, INC. ALL RIGHTS RESERVED.

第4回 チア・にっぽん読書感想文大会 一般の部 チア・にっぽん最優秀賞

「母なるあなたへ」を読んで
中島 啓子

数年前、ホームスクーリングを始めて間もなかった私は、十人も子供がいるファリス家の日常はどんなものだろう、御主人が忙しくて不在の多い家庭で、ビッキーさんはどんなふうにもホームスクーリングしているのだろうという興味を持って、初めてこの本を読みました。その時特に印象に残ったのは、ホームスクーリングの日常よりむしろ、ビッキーさんの、子供を授かることについての考え方が、神様によって変えられていった証しでした。

今、私は六人目を妊娠しています。チャーチ&ホームスクーリングの集まりに行くと、もっと大家族で育っている方がたくさんおられますが、日常的には、「え？ 六人目?」

と驚かれることの方が多くなってきました。子供達は主からの賜物として、本当に感謝し、全てを委ねることが神様のみことと信じています。しかし、家族計画によって管理するのも聖書的ではないかという意見を聞いたり、体力的、精神的、経済的な不安を覚えたり、育児に疲れ、妻としての役割が果たせないのを感じたり、ホームスクーリングがうまくいっていないと落ち込んだりすると、満ちあふれるはずの喜びと平安を遠くに感じることもたびたびあるのです。そこで、この本をもう一度開き、ビッキーさんの証しを読み返してみました。

妊娠、出産、避妊、流産をめぐる問題は、女性にとって特に繊細で複雑なテーマですが、彼女はありのままの出来事と内面的な葛藤をかなり詳しく語っています。十人の子供を持つファリス夫妻でも、避妊をしたり、妊娠したくありません、と神様に訴えた時期があったことは、驚きでした。しかし、多くの子供達を持つようになるまでに紆余曲折があり、その度に葛藤を繰り返しながら祈り、心に与えられた神様からの促しに従順をもって応答していった生き方は、とても大きな励ましとなりました。神様が母の胎を支配していること、実りの多いことを神様は喜ばれること、子供は祝福であること、私たちの体は主のものである、という聖書の土台に堅く立ち、子供のことについて神の導きに従うことは、どんな困難や犠牲を払っても価値あること、と決断した歩みに深く共感し、私自身にとっての強い確信ともなりました。

また、「小さな種が立派な樹木に一霊的な継承者のビジョン」という最後の章は、私の心にさらに大きな平安と希望を与えてくれました。それは、私と主人がこの夏、

思い巡らしていたことと重なっていて、まさに神様からの語りかけであると思わずにはいられないような内容だったのです。

今年の夏、主人はプロフィールを書くよう依頼されたのですが、その中に、

「夢は何ですか？」

という項目がありました。大人になってからは夢について聞かれることがほとんどなかったので、すぐに答えられなかった様ですが、主人は自分の夢について、「神様を愛する子孫を見ていくこと」

と答えました。私はそれを見て、私達夫婦にとって、何て素晴らしい、ぴったりの夢だろうと思い、感激しました。

ビッキーさんも最後の章でこう語っています。「自分の子どもたちが神とともに歩んでいるのを見ることは確かに大きな報いですが。しかし、この敬虔な財産が、孫の世代、ひ孫の世代、さらに後の世代にまで受け継がれることを神は願っていると、私は信じます。」

そして、詩篇127篇3節の「見よ。子どもたちは主の賜物、胎の実は報酬である。」

というみことばを深く掘り下げ、子供の教育の責任を持って、その犠牲の多い仕事に多くを注ぐほど、受ける報酬は大きく、後の世代にまで続く大きな祝福のために、熱心に労苦することの素晴らしさについて教えてくれています。

私達の日常の小さな労苦を、神様が用いて下さるようにと心から願います。そして神様を愛する子孫を見ていくことができるよう、主に委ね、主に期待して与えられた子供達をホームスクーリングしていきたいと思いました。



昨年の白馬セミナーで行われた読書感想文大会の表彰式。

チア・にっぽん カレンダー

●チア・コンベンション

関西：生駒聖書学院（奈良・生駒）

5月21日（金）～22日（土）

東京：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）

5月28日（金）～29日（土）

◆主講師（関西・東京）

フィル&スージー・ダウナー夫妻

◆主講師（東京） ウォルト・カレストッド氏

●チアにっぽん関東合同学習会トライアル（予定）

・6月2日（水）国会議事堂見学2（要・申込）

・9月25日（土）

◆国立オリンピック記念青少年総合センター（東京・代々木）

●チア・サマーキャンプ in 仙台・明泉学園

8月12日（木）～14日（土）（予定）

●白馬セミナー ホテル・グリーンプラザ白馬（長野）

11月18（木）～20日（土）（予定）

メンバー募集！

メンバーになると、様々な特典があります！
「チア・マガジン」、書籍、DVDなどが、なんと10%オフ!! このほか、コンベンション、サマーキャンプ、白馬セミナーが、会員割引価格で参加できます。

会費 (1) 個人メンバー 年間 5,000円
(2) 団体メンバー 年間10,000円

■「郵便振替」：00190-3-35461

チア・にっぽん事務局

■「銀行」：三菱東京UFJ銀行

赤羽駅前支店 普通 1746716

ホームスクーリング・ビジョン（株）

チア・にっぽん事務局

〒338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷
8-7-13-207TEL 048-854-1725 メール対応FAX 03-6862-8648
メール office@cheajapan.com

第5回 チア・にっぽん杯 読書感想文大会

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を表す力となります。昨年も40作品以上の素晴らしい作品の数々が寄せられました。今年もたくさんのご応募、お待ちしております！

◆対象作品：三浦綾子作品（どれでもOK）
チア書籍（どれでもOK）

◆部門：(1) 小学生の部（400～1600字） (2) 中高生の部（800～2000字）
(3) 一般の部（800～2000字）

◆締切：10月中旬

◆発表・授賞式：11月18日（木）夜7時 白馬セミナー会場（予定）

◆送り先：〒338-0013

埼玉県さいたま市中央区鈴谷8-7-13-207 チア・にっぽん事務局 「読書感想文係」